栄富稲荷と天満宮

雪輪町の自治会館の左に社があって、お稲荷さまと天神様が同居しています。

このお稲荷さま「栄富稲荷」といい、江戸時代に、足利藩主戸田家の※鬼門除けとして奉斎されたものと伝えられています。主祭神は食物、特に稲をつかさどる神といわれる倉稲魂神（宇迦魂神）です。

栄富稲荷の創建についてはハッキリした記録が残っていませんが、戸田家の鬼門除けとして奉斎したとありますので、宝永2年（1705年）以後であることは確実です。

お稲荷さまは、町の中では商売繁盛の神さまとして心の支えになっています。また、天満宮は、菅原道真公の木像が奉られ、学業成就のご利益があるといわれています。

※鬼門というのは、陰陽道で鬼が出入りする方角をいい、万事に忌み嫌う方角で、艮、つまり東北をいいます。昔は災難を避けるため“鬼門除け”といって、鬼門の方角に神仏などを祀る習慣がありました。

■所在地／足利市雪輪町

■アクセス

JR足利駅から1.1㎞、徒歩15分

東武足利市駅から1.1㎞、徒歩15分